



安積山

郡山市立日和田小学校
学校便り No.8
令和2年5月25日
文責：校長 伊藤孝行

本日より学校再開となりました。

4月21日から始まりました福島県内の学校の一斉臨時休業ですが、2週間の分散登校を経て、本日より学校再開となりました。



教室の机の配置は、子どもたちが「密集・密接」にならないよう、間隔をあけて配置するとともに、隣り合わないよう互い違いに配置することも行っています。

手の消毒については、登校してから教室に入る前、休み時間が終わった後、給食前、清掃後に、きちんとできるよう指導をします。

新しい生活様式の一つとして、子どもたちに「習慣」として身に付けることができるよう指導を重ねてまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。

学校再開後の学校生活について

学校が再開されたといっても、新型コロナウイルス感染の心配は続いています。

引き続き、朝の健康観察と検温へのご協力をお願いいたします。体調が悪い場合は、無理をせず休ませるようにしてください。

子どもたちは原則として、校内ではマスクを着用します。体育の授業中は熱中症や呼吸

が心配されることからマスクを外します。

グループ活動もまだできないため、調理実習や理科の実験、グループになって給食を食べることなども、関係機関からの通知が出されるまで当面の間見合わせます。

校内の消毒の様子について



分散登校が始まって以来、次亜塩素酸による消毒を行っています。

各教室については、学級担任の先生が消毒を行い、トイレや階段、昇降口、下駄箱などの共用の場所は、学級担任以外の先生方で手分けして消毒を進めています。

次亜塩素酸は、その性質上、毎日使う分を養護の先生が作成します。先生方は、ゴム手袋を着用して、はじめに次亜塩素酸をスプレーで吹き付け、次に雑巾1で拭きながら広め、10分後に雑巾2で水拭きして仕上げます。この作業を毎日行っています。

本日配付したマスクについて

本日、お子さんを通してマスクを2枚ずつ配付しました。



このマスクは、金田建設株式会社様よりご寄贈いただいたもので、消毒液は郡山南ロータリー様よりいただきました。